

# 宮の森



## 江戸時代の灯籠

発行元・白鳥神社総代会



白鳥神社本殿前に、一基の石灯籠が立っている。高さは二・五メートル位でかなり風化が見られる。

彫られた文字を読むと正面に、奉納 御奉前と書かれ、横に、石灯籠 両基、献主 原 正勝

反対側に、文化十三丙子年、とあり、その下が読めない。裏には石工 信〇高遠住 守谷万壽とある。

文化十二年（一八一六）と言えば今から二〇二年前で宝暦騒動から約六十年、明治より約五十年前の時代。徳川十一代将軍・家斉で葛飾北斎（五七）、雷電為衛門（四九）達が全盛の時代。全国的にも大飢饉があり、白鳥では牛道川大洪水や大地震が起きていたようである。不安定な中で、この石灯籠は寄進されたのだ。又、現本殿は一八五二年に建立されているが、この灯籠はそれより三十六年前、旧本殿の時に建てられたことになる。寄進者・

原正勝は白鳥の布屋・原醸造の第二代当主・原左次郎正勝氏である事が判明。原氏は油坂峠に、私財を投入し苦心の末、湧き水を掘り当て、旅人に提供し喜ばれている。清水が湧き出た時、何処からともなく蝶々が沢山来て

(1)

舞ったといわれ、此処を「蝶々清水」として今も湧き出ている。これが九頭竜川の源流とされ、九頭竜湖は「蝶の湖」と呼ばれる由縁である。又、正確には読み切れないが、この灯籠を刻んだ石工が信州の高遠石工ではないかと思われる。高遠石工は当時、全国的に有名で各地で石仏などの痕跡を残している。高遠石工で名工として名を残した人に、守屋貞治が居る。これから推測しても白鳥の石灯籠を刻んだ、守谷万壽も高遠石工に相違ないと思われる。全国に名の通った高遠石工の灯籠である。二百年の風月に耐えて、今も毅然と本殿前で、皆さんをお迎えしております。先人の心意気に感謝しながら、お参り頂ければ、又、趣も一段と違ったものとなるのではないのでしょうか。

## 令和・初の秋祭り



天気予報は大方雨であり、その為の準備はしたが、何とか持ちこたえてくれた。最後、宮を出るクライマックスシーンが雨の奴に邪魔されて残念だった。町廻りは雨もなく、予定通りに出来、縁起札も五百本用意したが、残す事無く、皆さんにもらっていた。

役者衆の気迫が一段とアップして、獅子にも迫力が出てきた。一年生の神舞子は張り切りすぎて、最後は肩で息をするシーンもありましたが、乗り切りました。浦安の舞は昨年から先生なしで、先輩が新人を教え込んで仕上げでゆく方法で今年も、綺麗に舞いました。

自分達でやってゆくと意識が芽生え、更なる伸びしろを目指して頑張ってくれと思います。

雅楽にも若い女性が一人加わり、マンネリを脱し、新



境地が出てくるものと期待が膨らみます。女性の増える事がその答

えを出してくれる事でしょう。因みにその新人女性は、和平の孫で昨年まで巫女をやってくれていた曾我美結さんです。仲間を増やしてくれば、雅楽全体が若返り、伝統が立派に繋がってゆくと思われます。女性の皆さん、挑戦してください。雅女に。

## 初宮・七五三詣

十一月二日、初宮と七五三詣での神事を行いました。初宮は一人でしたが、七五三は十一名来られ、その内、女兒が十名で、何とも煌びやかで賑やかでした。

### 〇初宮詣

正者 拓巳・愛 夫妻 長男 悠渡君（白鳥）

### 〇七五三詣

松山真也・里美・夫妻 長女 陽咲さん三歳（前谷）  
松山福太郎・暁子・夫妻 長女 結海さん七歳（白鳥）  
松山福太郎・暁子・夫妻 次女 千宙さん六歳（白鳥）

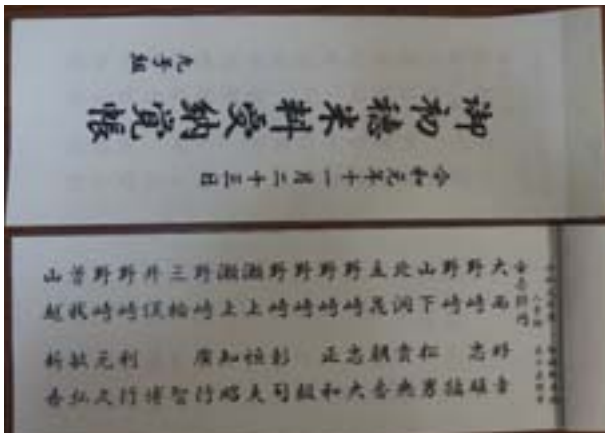


尾藤健介・亜由美・夫妻・長女・みなさん七歳(為真)  
 猪島一馬・遙・夫妻・長女・希子さん二歳(大鳥)  
 加我章太郎・絢菜・夫妻・長女・安奈さん二歳(白鳥)  
 加我嘉章・那奈・夫妻・長女・嘉音さん五歳(白鳥)  
 加我嘉章・那奈・夫妻・次女・柚奈さん二歳(白鳥)  
 稲葉真一・みゆき夫妻・長女・れいさん二歳(白鳥)  
 青木哲哉・千尋夫妻・長女・和奏さん七歳(名血部)  
 青木哲哉・千尋夫妻・長男・聡太君五歳(名血部)  
 総代も全員出席し、この先の健やかなご成長を祈願。

**新嘗祭**

十一月二十三日 令和初の新嘗祭を挙行。  
 宮中では天皇が変られる時の新嘗祭を大嘗祭と言い、  
 天皇が一代で最初の年に一回だけ行われます。今年は十一月十四・十五日に計八時間かけて行われました。

白鳥神社では例年通り二十三日に拝殿にて、ご来賓、自治会各組長、氏子総代、計五十人の参列者の元、五穀豊穡を神に感謝いたしました。昔はお米を奉納頂いておりましたが、今は御浄財を拝受し、お名前を奉加帳に記し、神前にお供えさせていたいております。今年



は五百二十五軒から奉納賜りました。神社の護持運営に使わせていただきありがとうございます。有難うございました。  
 例年ですと境内の大銀杏は散るのですが、今年は異常な温かさで黄金の立ち姿を見せてくれました。



**円空・フランスへ**

十月下旬、フランス人ご夫妻の訪問を受けた。と言っても、ご主人はフランス人、奥様は日本人。何事かと思いきや、白鳥神社の円空仏に逢いたいとの事。ご主人はフランス文学を専攻している内に、日本に興味がわき、四国のご遍路も踏破する中で、神仏に傾倒し学ぶ中で白山信仰が出て来た。その中に円空の存在を知り、白山と円空に魅せられ、すっかり虜になってしまった由。更に、頻繁に日本を訪れ、各地を廻っている中で、円空ゆかりの地である、羽島市、美並町、関市、高山市を詳しく巡視、そして長滝も訪れ、白鳥を知ったと言われる。



円空仏は長滝で彫り、阿名院に奉納安置された。それが何故、白鳥神社に現在あるのか？放浪の僧・円空は、多くの謎を含んだ人と言われ、その解明が大きな魅力の一つだとも言われる。  
 奥様は岐阜県池田町の出身で、パリでは通訳業をやっておられる様だ。こうした環境がご主人の円空研究に大きく寄与しているやに感じられる。円空仏をお見せする訳にはいかなかったけれど、平成二十五年、秘仏御開帳した時の資料と、その時作成した円空仏のポ

ストカード数枚をお持ち帰りいただいた。白鳥の円空仏写真が遠くフランスに渡ると思つと、嬉しくもあり、円空さんも黄泉の世界からボンジュールだろうか。

**御寄進・ご奉仕**

- 一、大神楽役者の藁草履九十足……………三輪英一様
- 一、神饌白米一斗……………金子明様
- 一、大神楽へ差入れ梨二十五個……………喫茶・白樺様
- 一、台風対策準備……………川崎弘様・正者憲次様
- 一、拝殿提灯格納箱寄贈……………足立好教様
- 一、神社関係写真展示作業……………曾我誠様
- 一、手水場塗装、拝殿腰壁清掃……………足立好教様
- 一、例祭前本殿付近除草……………清水妙子・瀬木すみ子様
- 一、例祭ポスター図案製作……………郡上北高校様
- 一、大神楽役者の下駄……………瀬上博通様
- 一、湯沸かしポット一台……………丸八クリーニング様
- 一、例祭時重機格安提供……………曾我工務店様

**令和二年十二月からの主な行事予定**

- 12/1〜9……………伊勢神宮大麻頒布
- 12/15……………年末年次の準備作業
- 12/31……………迎春準備・元日迄徹夜
- 1/1……………九時〜拝殿にて歳旦祭神事
- 1/1〜3……………初詣〜お神酒振舞、縁起物販売
- 1/4……………左義長神事・片付け作業
- 1/8〜9……………伊勢神宮初詣、椿大社、上賀茂神社参拝
- 1/12……………門松撤去
- 3/2……………役員会、次年度事業計画検討会
- 3/8……………祈年祭・稲荷神社初午祭神事、総代会
- 3/27……………会計監査

**御朱印受付**

ご希望の方は0575-82-4387 瀬上まで  
 (文責・瀬木)